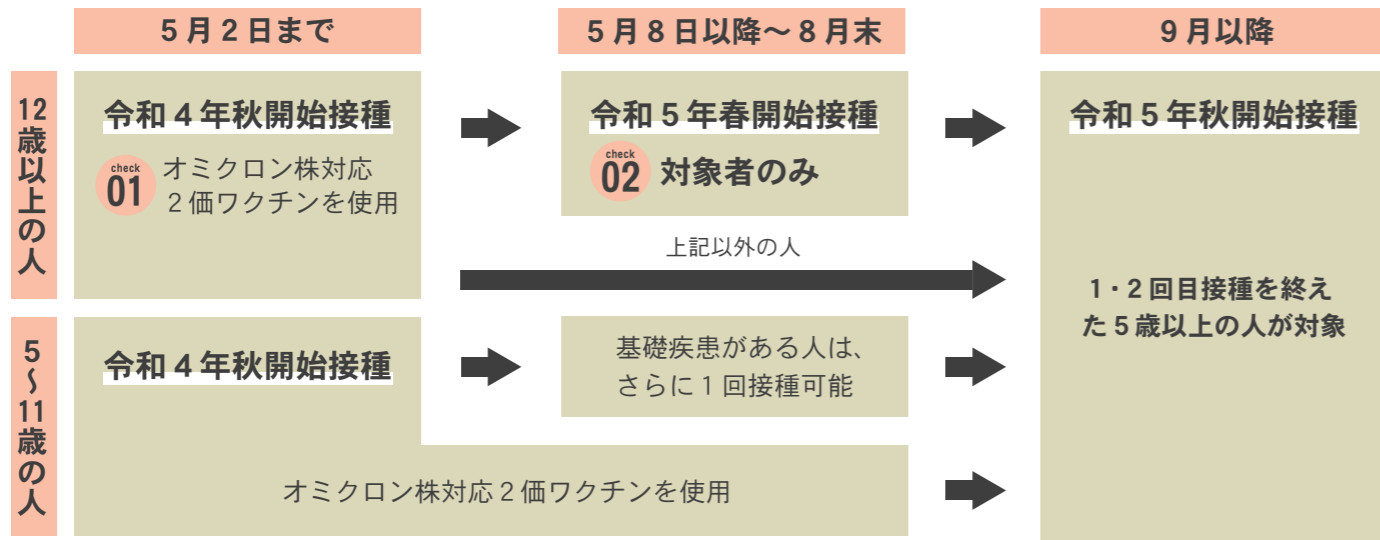


接種 継続 新型コロナワクチン接種 令和5年度も「継続」

令和5年度のワクチン接種は、今までどおり全ての人が無料で接種できます。今後のスケジュールについて、お知らせします。

■問い合わせ 市新型コロナウイルス対策室(☎66-3570直通)

今年度の接種スケジュール



※6カ月～4歳は通年で接種可能

check 01 令和4年秋開始接種 希望する人はお忘れなく！

令和4年秋開始接種(12歳以上のオミクロン株対応ワクチン)は5月2日に終了します。令和5年春開始接種の対象者以外で、接種を希望する人は必ず5月2日までに接種してください。

check 02 令和5年春開始接種 接種できるのは対象者のみ

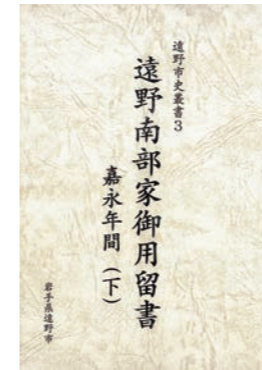
対象者は、①65歳以上②基礎疾患がある12～64歳③医療従事者など——です。接種券は4月中旬から順次発送します。②は以前申請した人を除き、接種券の発行申請が必要です。詳細は問い合わせください。



接種予約 QRコード

遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

本コーナーでは、あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。遠野遺産なども紹介します。



遠野南部家は、江戸時代の遠野を治めた領主です。普段は盛岡屋敷に住み、盛岡藩の家老や大老も務めていました。盛岡屋敷で起きた出来事を記した公用日記が、「御用留書」です。現在「御用留書」は、幕末から明治にかけて23年間分32冊が残っています。留書には、日々の政務や藩政の動向、婚姻・離縁・見舞・葬儀などといった藩士同士の交際の様子や年中行事、領地である遠野とのやりとりが記されています。市史編さんの一環で解説を進めており、3月に刊行した「御用留書 嘉永年間(下)」(写真)は3冊目で、嘉永4・5・7年の出来事を収録しました。

嘉永7年記事で注目されるのは、一揆の指導者を輩出した野田村と田野畑村が一時期、遠野南部家の領地として預けられていたことです。遠野南部家に治安回復と民心を取り戻すことが託され、やがて百姓らが落ち着きを取り戻し農業に精を出すようになり、「もう一揆を起こすことはないだろう」として盛岡藩に返還されるにいたる一連の記事が収録されています。一揆の収束に遠野南部家が果たした役割は大きく、この時の遠野の殿様・南部弥六郎(あきつむら)は名君として慕われ、遠野と三陸沿岸の歴史のつながりの深さを知ることができます。

三閉伊一揆と遠野南部家 「御用留書」新刊から

第152回

遠野遺産

The Tono Heritage

遠野遺産認定第152号「有形文化遺産」(平成30年8月19日認定)

蘭場の山神神社(蘭場産神宮)

推薦者 下郷地区自治会



古くからお産の神様として地域の信仰を集めていた蘭場の山神神社。創建は棟札の年代から延享2(1745)年とされ、「産神 木花咲耶姫」を祭り、広く沿岸からも参拝者が訪れていたと伝えられています。安産を願う神社に奉納された小枕を持ち帰り、無事お産が済んだ後は、持ち帰った小枕と新しく作った小枕の二つを神社に奉納するという風習がありました。現在は小枕の奉納は行われていませんが、毎年3月には山神尊の掛け軸をかけて拝む祭事を行うなど、地域の信仰の場となっています。



MEMO
住 宮守町下宮守15地割127番地
交 JR宮守駅から車で5分
問 宮守地区センター(☎69-1700)

業務 停止 マイナンバーカードの手続き GW中は2日間停止

国のシステム更改作業のため、マイナンバーカードに関する業務を一部停止します。期間中は受け付けできる業務に限られますので、ご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ 市情報推進課(☎62-2111内線238、239)

■停止日

5月1日(月)・2日(火)

■停止する業務

- ①電子証明書の発行・失効・更新
- ②暗証番号の初期化
- ③券面事項の更新

■受け付けできる業務

- ①カードの申請
- ②カードの受け取り(完全予約制)
- ③マイナポイントの申請支援

問い合わせ:市文化課(☎62-2340/FAX:62-5758)